

July 2, 2025

Japan Bank for International Cooperation

Environmental Examination Report

(1) Project Name

Manufacturing and sales of dimethyl carbonate and ethyl methyl carbonate

(2) Project Site

Louisiana, the United States

(3) Project Outline

Manufacturing and sales of dimethyl carbonate and ethyl methyl carbonate

(4) Category Classification

Category B

(5) Reason for Classification

The project does not fall under the category of large-scale projects in the petrochemical sector under the Guidelines. It is not expected to have any significant adverse impact on the environment, as it does not involve sensitive characteristics and the project site is not located in or around sensitive areas.

(6) Environmental Permits and Approvals

The Environmental and Social Impact Assessment (ESIA) report for this project was prepared in accordance with applicable laws and regulations and was approved in December 2024 with conditions by the Louisiana Department of Environmental Quality. The hazardous waste permit is scheduled to be obtained in the second half of 2026. All other required environmental permits have been secured.

(7) Pollution Mitigation Measures

It has been confirmed that air quality, water quality, waste control, noise, and vibration are properly managed.

(8) Natural Environment

Since this project site is located within an energy park, there are no protected areas on the site or in the surrounding region. In addition, there

are no designated sanctuaries and ecologically important forests, or habitats of valuable species that are required to be protected by the laws of the United States and international treaties inside or near the project site.

(9) Social Considerations

The project site is located within a developed energy park. Therefore, the project does not involve land acquisitions and involuntary resettlement.

(10) International Standard

IFC Performance Standard

(11) Others and Monitoring

Taking the above environmental review results into consideration, JBIC will monitor compliance with the conditions attached to the ESIA report, the status of outstanding permits and licenses, and any complaints or findings from the authorities.

質問事項

質問 1. プロジェクトサイトの住所を記入して下さい。

(米国) River Rd. Waggaman, LA

質問 2. プロジェクトの内容について簡単に記入して下さい。

米国ルイジアナ(LA)州の化学工業団地内に、リチウムイオン電池(LiB)の電解液溶媒ジメチルカーボネート(DMC)、エチルメチルカーボネート(EMC)を製造する工場を新設、稼働開始します。

質問 3. プロジェクトは、新規に開始するものですか、既に実施しているものですか？既に実施しているものの場合、既に行われているプロジェクトは現地住民等より強い苦情や現地環境当局から改善指導や工事中止・操業停止命令等を受けたことがありますか？

■ 新規 □ 既往（苦情等あり） □ 既往（苦情等なし） □ その他（ ）

質問 4. プロジェクトに関して、環境社会影響評価（ESIA、EIA 等）はプロジェクトを実施する国の法制度上必要ですか。必要な場合、実施または計画されていますか？

■ 要（実施済） □ 要（実施中・計画中） □ 不要
□ その他（ ）

米国の環境関連法令に則り、本件工場の建設とその後の稼働に必要な許認可（ESIA、EIA 等）を調査した上で、プロジェクトのスケジュールに支障の無いよう、監督官庁に申請し審査を受けるなど進めており、着工に必要な大気汚染防止（Air Permit）は実施、許可取得済です。

質問 5. 環境社会影響評価が既に実施されている場合、環境社会影響評価はプロジェクトを実施する国の環境社会影響評価制度等に基づき審査・承認を受けていますか？既に承認されている場合、承認年月、承認機関について記載して下さい。

□ 承認済み（附帯条件なし） ■ 承認済み（附帯条件あり） □ 審査中
□ その他（ ）

（承認年月：2024 年 12 月 承認機関：Louisiana Department of Environmental Quality (LDEQ)）
本プロジェクトにおいて、ESIA に該当する主要な許認可の例として Air Permit の許可（書面添付）です。

質問 6. 環境社会影響評価以外の環境に関する許認可が必要な場合、その許認可名を記載して下さい。また、当該許認可を取得済みですか？

□ 取得済み ■ 取得必要だが未取得 □ 取得不要 □ その他（ ）
廃棄物処理に関する許認可が必要なので、本件工場の稼働開始までに取得するべく準備中です。
（許認可名： RCRA Hazardous Waste Operating Permit ）

質問 7. 当行の出融資・保証の承諾後に具体的なプロジェクトが特定されるものですか？（例：承諾時にサブプロジェクトを特定できないツーステップローン等）

(No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。
No の場合、質問 8 以下にお答え下さい。

質問 8. 当行の出融資・保証の対象は、国際収支支援、或いは特定のプロジェクトと関連のない機器等の単体輸出入やリース等、特定の地点／地域での設置や実施を伴わない製品或いはサービスの提供に該当しますか？

(No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。
No の場合、質問 9 以下にお答え下さい。

質問 9. プロジェクトサイト内または周辺域に以下に示す「影響を受けやすい地域」がありますか？

(No)

Yes の場合、該当するものをマークして下さい。質問 10 以下にお答え下さい。
No の場合、質問 10 以下にお答え下さい。

- ☐ (1) 国立公園、国指定の保護対象地域（国指定の海岸地域、湿地、少数民族・先住民族のための地域、文化遺産等）
- ☐ (2) 生態学的に重要な森林（原生林、熱帯の自然林を含む）
- ☐ (3) 生態学的に重要な生息地（珊瑚礁、マングローブ湿地、干潟を含む）
- ☐ (4) 国内法、国際条約等において保護が必要とされる貴重種の生息地
- ☐ (5) 大規模な塩類集積あるいは土壌浸食の発生する恐れのある地域
- ☐ (6) 砂漠化傾向の著しい地域
- ☐ (7) 考古学的、歴史的、文化的に固有の価値を有する地域
- ☐ (8) 少数民族あるいは先住民族、伝統的な生活様式を持つ遊牧民の人々の生活区域（文化的、精神的な目的で使用される地域を含む）、もしくは特別な社会的価値のある地域

質問 10. プロジェクトにおいて以下に示す特性が予定されていますか？

(No)

Yes の場合、該当する特性の規模を記載して下さい。また、質問 11 以下にお答え下さい。
No の場合、質問 12 以下にお答え下さい。

- ☐ (1) 非自発的住民移転または生計手段の喪失 (規模： 人)
- ☐ (2) 地下水揚水 (規模： m³/年)
- ☐ (3) 埋立、土地造成、開墾
- ☐ (4) 森林伐採 (規模： ha)

質問 11. プロジェクトを実施する国の環境社会影響評価制度において、質問 10 (1) ～ (4) に該当する特性及びその規模が、プロジェクトの環境社会影響評価を実施する根拠になっていますか？

- ☐ 根拠となっている ☐ 根拠となっていない
- ☐ その他 ()

質問 12. プロジェクトは、人権を含む社会面で重大な影響を及ぼす可能性が高いですか？

(No)

Yes の場合、該当する内容を記載して下さい。また、質問 13 以下にお答え下さい。
No の場合、質問 13 以下にお答え下さい。

- ☐ 人権への重大な影響を及ぼす可能性 ()
- ☐ その他 ()

質問 13. 総プロジェクトコストに占める国際協力銀行または日本貿易保険支援割合が、5%以下または支援額が 10 百万 SDR 相当円以下ですか？(既往の同一プロジェクトへの追加支援の場合は累積額とする。)

(N o)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

No の場合、質問 14 にお答え下さい。

質問 14. プロジェクトは、既に実施しているプロジェクトに対する増産又は拡張を伴わない設備投資或いは運転資金等に該当しますか？(例：既存設備のメンテナンスのプロジェクト、拡張を伴わないリハビリ、追加設備投資を伴わない権益取得)

(N o)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

No の場合、質問 15 以下にお答え下さい。

質問 15. 以下に掲げる特定セクターに該当するプロジェクトですか？

(Y e s)

Yes の場合、該当するセクターをマークして下さい。また、質問 16 にお答え下さい。

No の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

- ☐ (1) 鉱山
- ☐ (2) 石油・天然ガス開発
- ☐ (3) パイプライン
- ☐ (4) 鉄鋼業（大型炉を含むもの）
- ☐ (5) 非鉄金属製錬
- ☒ (6) 石油化学（原料製造。コンビナートを含む）
- ☐ (7) 石油精製
- ☐ (8) 石油・ガス・化学物質ターミナル
- ☐ (9) 紙、パルプ
- ☐ (10) セメント（新設の採石場を含むもの）
- ☐ (11) 有害・有毒物質製造・輸送（国際条約等に規定されているもの）
- ☐ (12) 火力発電
- ☐ (13) 原子力発電
- ☐ (14) 水力発電、ダム、貯水池
- ☐ (15) 送変電・配電（大規模非自発的住民移転、大規模森林伐採、海底送電線を伴うもの）
- ☐ (16) 道路、鉄道、橋梁
- ☐ (17) 空港
- ☐ (18) 港湾
- ☐ (19) 下水・廃水処理（影響を及ぼしやすい特性を含むか、影響を受けやすい地域に立地するもの）
- ☐ (20) 廃棄物処理・処分
- ☐ (21) 農業（大規模な開墾、灌漑を伴うもの）
- ☐ (22) 林業、植林
- ☐ (23) 観光（ホテル建設等）

質問 16. プロジェクトの規模（概略開発面積、施設面積、生産量、発電量等）について記入して下さい。また、プロジェクトを実施する国において、そのプロジェクトの規模が大きいことを理由として環境社会影響評価が必要となる

かどうかについても記入して下さい。

- ・工場敷地(賃借)面積：13 エーカー（約 52,600m²）
- ・製品生産能力：DMC 10,000MT/年（自消分を含む）、EMC 40,000MT/年

本プロジェクトの規模が大きいことを理由として環境社会影響評価の（追加的な）必要性が生じることはありません。